

Ⅲ 健康増進課

1 健康づくり推進事業

(1) 「健康津軽21（第2次）」の推進

管内の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、住民主体の健康づくりを進めていく計画として平成13年度に「健康津軽21」を策定した。その後中間報告と見直しを経て、平成24年度に最終評価し、それを踏まえて平成25年度を初年度とする「健康津軽21（第2次）」を策定した。策定内容は、健康津軽21に引続き「肥満予防対策」、「喫煙防止対策」、「自殺予防対策」を重点課題として、以下3領域、12分野について取り組み、「管内市町村健康増進計画（第2次）」と連動させながら推進を図ってきた。

① 「生活習慣の改善」の領域

栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙、歯の健康の5分野

② 「生活習慣病の発生予防と重症化予防」の領域

がん、循環器疾患、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の4分野

③ 「こころの健康」の領域

こころの健康、認知症、休養（睡眠）の3分野

平成29年度に中間評価を行い、その結果、改善がみられた指標の割合は全体の55.7%となっており、分野別では、改善の割合が高いのは「飲酒」「歯の健康」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」「喫煙」「認知症」「循環器疾患」「糖尿病」であったが、悪化の割合が高い分野は「休養（睡眠）」「身体活動・運動」「がん」であった。

中間評価を踏まえ、上記の重点課題3領域に加え、新たに「がん対策」を重点の取組に加え、引き続き推進を図っている。

(2) 津軽地域 地域・職域保健連携推進事業

当圏域は、働き盛りの人たちの健康課題の解決が喫緊となっていることから、市町村や保健所等で実施している保健サービスと、職域で実施している保健事業について相互の連携を密にし、健康津軽21（第2次）計画における重点的な取組である生活習慣病の予防やメンタルヘルス対策について、効果的な保健事業を推進するものである。

ア 津軽地域 地域・職域保健連携推進協議会

津軽地域保健医療推進協議会保健対策部会において開催した。

健康津軽21（第2次）の最終目標について、令和5年度までの6年間で関係機関・団体が取り組むことでの了承された。

○開催日時：平成30年11月14日（水）15：00～16：30

○開催場所：ラグリー

○出席者：30人（委員13人、オブザーバー6人（市町村）、事務局11人）

○内 容：《テーマ》健康津軽21（第2次）の最終目標とがん対策の取組について

① 健康津軽21（第2次）の最終目標（案）について

② がん対策の取組について

イ 市町村・事業所における健康づくり研修会、支援

開催年月日	参加者	内 容 等	講師
平成 30 年 6 月 7 日(木)	衛生管理者 24 人	がん予防、早期発見・早期治療のために (衛生管理者委員会研修)	保健所保健師
平成 30 年 7 月 4 日(水)	事業所 104 人	がん予防、早期発見・早期治療のために (弘前地区産業安全衛生大会)	保健所保健師
平成 30 年 11月1日(木)	事業所 47人	がん予防とがん早期発見のために (リーダーシップを発揮するための指導育成力・問題解決力向上セミナー)	保健所保健師
平成 31 年 2月7日(木)	事業所 20人	がん予防とがん検診のススメ (女性活躍推進に向けた組織力向上セミナー)	保健所保健師
平成 31 年 2月22日(金)	事業・市町村等 34人	がん検診を上手に活用するための知識 (がん検診及び精検受診率向上のためのトップセミナー)	医師 保健所保健師
平成 31 年 2月28日(木)	一般住民 17人	糖尿病の予防と生活習慣の改善	保健所保健師

(3) 喫煙対策事業

「健康津軽 2 1 (第 2 次)」の今後の目指すべき姿と取り組みをもとに、喫煙による健康障害に対する知識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進を図る。

ア 研修会・機会教育等実施状況

開催回数	年月日	開催場所	内 容	講 師	対象参加者
1	平成 30 年 5 月 12 日 (土)	大鰯町 鰯 come	大鰯町の保健事業である出張健康鑑定団において、肺年齢測定を実施。必要時、禁煙指導を行った。	弘前保健所 技師 (保健師) 音喜多 祐未 富岡 諒	南津軽郡連合 PTA 総会出席 者 41 人
2	平成 30 年 7 月 1 日 (日)	大鰯町総合 福祉センター	健康フェスタ開催時に、大鰯町の保健事業である出張健康鑑定団において、肺年齢測定を実施。必要時、禁煙指導を行った。	弘前保健所 技師 (保健師) 岩谷 香奈 三上 貴瑛	大鰯町民 約 50 人
3	平成 30 年 8 月 11 日 (土)	大鰯町中央 公民館	大鰯町の成人式にて、健康コーナー (肺年齢測定、禁煙指導、パンフレット配布) を設けた。	弘前保健所 技師 (保健師) 岩谷 香奈 音喜多 祐未	大鰯町平成 30 年度新成人と 参列者 13 人
4	平成 31 年 1 月 19 日 (土)	大鰯町 鰯 come	健康フェスタ開催時に、大鰯町の保健事業である出張健康鑑定団において、肺年齢測定を実施。必要時、禁煙指導を行った。	弘前保健所 技師 (保健師) 三上 貴瑛 音喜多 祐未	大鰯町民 約 60 人

イ 空気クリーン施設・車の認証拡大

①空気クリーン施設の認証状況の把握・情報提供

・管内市町村における空気クリーン施設・車の認証状況を把握し、各市町村へ情報提供を行った。

②喫煙の健康被害に関する知識の普及・啓発、空気クリーン施設のPR

・食品衛生協会の協力のもと食品衛生講習会の際に、空気クリーン施設認証制度のリーフレットを飲食店へ約140部配布。

・弘前市職員と6件の「ひろさき健やか企業」へ同行訪問し、認証拡大に向けた空気クリーン施設認証制度説明を実施。うち2件が新規認証につながった。また、県本庁「青森県健康経営認定制度」担当者と認定に向けた同行訪問を1企業に実施した。

・若者健やか向上支援事業と絡めて弘前大学生へ空気クリーン施設認証制度について説明を実施した。

・各市町村へ市町村保健師活動打合せにて情報提供。

空気クリーン施設の現地調査の際、空気クリーン車のPRを実施。

新規認証数：105件（空気クリーン施設：33施設 空気クリーン車：72台）累計1009件

ウ 調査の集計・分析等

<市町村の喫煙対策自己点検調査>

・11月に市町村の喫煙対策自己点検調査を実施し、中南地域の喫煙対策の現状把握と分析を行った。結果を2月に市町村に対して公表した。

<妊婦喫煙状況の調査>

・妊婦連絡票から、妊産婦の喫煙状況を収集・分析し、母子ネットワーク会議にて妊娠前後の喫煙率同居者の喫煙率について情報提供。

(4) がん予防のための中南地域健やか力向上事業

中南地域はがんによる死亡率、特に、壮年期の死亡率が高く、また、2次医療圏の標準化死亡比の全国比較でみると、男性がワースト1、女性がワースト5であることから、がんの早期発見・早期治療のため、住民と職域関係者のがん検診及び精密検査の受診率向上を図るとともにがん予防のため、無煙世代育成等を通して、若い世代の健やか力向上を目指す。

1 がん検診受診率向上支援チャレンジ事業

(1) がん検診受診率向上施策研修会

がん検診受診率向上のための考え方やこれまでの取組みの検証・評価による効果を共有することにより、管内市町村のがん検診受診率向上の取組みの一助とすることを目的に開催した。

○開催日時：平成30年9月7日（金）14:00～17:00

○開催場所：土手町コミュニティパーク 多目的ホールA

○内 容：①講話「今日から使える！受診勧奨通知作成時のポイント」
(株)キャンサースキャン 代表取締役 福吉 潤 氏

②情報提供「受診勧奨通知の変更の経緯と効果等について」

黒石市健康推進課 主任保健師 加藤 千尋 氏

つがる市健康推進課 保健師 佐々木 瑞穂 氏

③グループワーク

「受診勧奨のお知らせについて～情報交換から工夫点を探してみよう～」

(2) がん検診及び受診率向上のためのトップセミナー

事業所等代表者ががん検診の必要性や精検の重要性について理解を深め、事業所におけるがん検診受診率の向上を図る。

○開催日時：平成31年2月22日(金)13:30～15:30

○開催場所：アートホテル弘前シティ 3階 エメラルド

○内 容：①講話「がん検診を上手に活用するための知識」

青森県立中央病院 医療顧問、青森県がん検診管理指導監 斎藤 博 氏

②情報提供 ・青森県健康経営認定制度について

・平成29年度中南地域における事業所がん検診実施状況調査結果

2 健やか力向上支援事業

若者(学生)が喫煙などの健康に関する学習会や空気クリーン施設や青森のおいしい健康応援店認証制度の勸奨等を通じて、学生の健やか力の向上を図る。

(1) 学生ボランティアの募集

学生を対象に事業説明会を2回行い、新たに5名がボランティアに登録した。

(2) 学生ボランティアによる「青森のおいしい健康応援店」の発掘

2件の情報提供があり、1件を認証した。

(3) 学生の意見交換会

○開催日時：平成31年1月23日(水)

○開催場所：HLS弘前

<第1部>意見交換

テーマ：「青森のおいしい健康応援店」認証制度を若い世代に普及させるために課題となっていることは何か」

ファシリテーター：下田 翼 氏 (りんご飴マン)

<第2部>

①講話 講師：Original Design OG-chance 代表 太田 絵里子 氏

②意見交換「弘前保健所版青森のおいしい健康応援店周知のためのツール」デザイン案を考える

(4) 弘前保健所版青森のおいしい健康応援店認証証とチラシの作成

3 無煙世代育成・保護者啓発事業

受動喫煙防止ソングを活用して、保育所・小学校等において幼児・児童自身による自主的な学習や保護者に対する啓発機会を増やし、喫煙や受動喫煙防止に関する知識の定着を図るとともに、活動の拠点化に向けた体制の整備を行う。

(1) 無煙世代育成教室

○実施時期：平成30年5月～平成31年2月

○実施場所：保育園(2か所)、小学校(4か所)、市町村等イベント(4か所)

○対象者：園児・小学生等

○内 容：・受動喫煙防止ソングを活用した児童生徒や保護者の知識の定着
・教室の開催回数(参加者)：33回(1,909人)

(2) 無煙世代育成事業報告会

○実施時期：平成31年2月23日(土)

○実施場所：保育園(1か所)

○対象者：園児等

○内 容：受動喫煙防止ソングに合わせたダンスレッスン、ダンス発表、たばこに関するクイズ

(5) 特定健診・レセプトデータに関わる集計・分析(旧「市町村等「健活」推進のための地域診断事業」)

がん・生活習慣病対策課が配布する地域診断ツールの活用し、平成28年度特定健診データ(国保分)、レセプトデータを取りまとめ、がん・生活習慣病対策課に提出、市町村に情報提供を行った。

(6) 市町村健康づくり活動への支援

1 市町村健康づくり推進協議会等への参加

市町村	協議会名	委員	委嘱期間	開催年月日	出席者	備考
弘前市	弘前市健康づくり審議会	所長	H30.7.25 ～R2.7.24	H30.7.25	三上主任専門員	①委嘱状交付 ②健康ひろさき 21 の中間評価
				H30.12.27	山中所長 工藤主幹	①健康ひろさき 21 の中間評価 ②弘前市自殺対策計画について
				H31.3.6	山中所長 山口課長	①健康ひろさき 21 (第二次) 改訂版について
黒石市	黒石市健康づくり推進協議会	所長	H29.4.1 ～H31.3.31	H30.6.28	山中所長 千葉技師	①29年度事業実績 ②30年度事業計画
				H31.2.21	山中所長 田中技師	①健康くろいし 21 計画の中間評価 ②黒石市自殺対策計画について
平川市	平川市健康づくり推進協議会	所長	H29.3.21 ～H31.3.20	H30.10.25	山中所長 中村主査	①平成 29 年度健康づくり事業実績 ②「健康ひらかわ 21」の中間評価
				H31.1.24	山中所長 三上技師	①平川市自殺対策計画(案)について
				H31.3.18	中村主査	①「健康ひらかわ 21」の中間報告書 ②H30 実績及び H31 計画について
西目屋村	西目屋村健康づくり推進協議会	—	—	—	—	※実施なし
藤崎町	藤崎町健康づくり推進協議会	所長	H30.8.1 ～R2.7.31	H30.8.30	三上主任専門員	①健康ふじさき 21 の中間評価について ②H30 年度保健活動計画について
				H31.2.14	山中所長 富岡技師	①健康ふじさき 21 の中間評価報告書(案)について
大鰐町	大鰐町健康づくり推進協議会	所長	H30.10.1 ～R2.9.30	H30.6.5	山中所長 岩谷技師	①H29 年度事業実績 ②H30 年度事業計画 ③平均寿命を 1 歳延ばそうプロジェクトについて
				H30.10.2	山中所長 岩谷技師	①H29 年度保健事業概要 ②H30 年度上半期保健事業実績報告及び下半期事業計画 ③自殺対策計画について
				H31.3.1	山中所長 岩谷技師	①いのちとこころを支える大鰐町自殺対策計画(案)について
田舎館村	田舎館村健康づくり推進協議会	所長	H29.4.1 ～H31.3.31	H31.3.18	山中所長 音喜多技師	①健康いなかだて 21 (第二次) 中間評価について ②保健事業の評価について ③自殺対策計画(案)について
板柳町	板柳町健康づくり推進協議会	—	—	—	—	※H30 年度は、板柳町健康福祉計画策定会議として開催。H31 年度は、健康づくり推進協議会として開催予定。

2 母子保健事業

(1) 妊産婦支援体制整備事業

虐待の発生予防として、育児の孤立化、育児不安の軽減に努め、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備することを目的とする。

ア 産後うつ病の予防対策推進事業

市町村及び医療機関に対し、産後うつ病質問票の普及を図り、併せて医師、児童相談所、市町村の児童福祉・母子保健関係者等関係機関との検討会を開催し、産後の抑うつ状態の早期発見を推進することを目的とする。

(ア) EPDS の市町村・医療機関への普及推進会議（母子保健ネットワーク会議と併催）

平成 30 年度版として更新した「ハイリスク妊産婦、未熟児等の連絡窓口担当者名簿」を市町村へ配付し、産後うつ病の予防や早期発見のための活用について、働きかけた。

(イ) ケース検討会議（要保護児童地域対策協議会）

弘前市 2 件（うち 1 件は欠席）

イ 母子保健ネットワーク会議

保健・医療・福祉及び教育等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議・検討・研修を行い、地域保健との関係機関の連携体制整備を進めることを目的とする。

開催日時	開催場所	出席者	内 容
平成 31 年 1 月 21 日(月) 10:30～16:10	青森県産 業技術セ ンター	【第 1 部】 市町村、助産師 会、弘前保健所 計 19 名 【第 2 部】 医療機関、市町 村、児童相談 所、助産師会、 弘前保健所 計 33 名	【第 1 部】 1) 事例検討 市町村保健師の対応ケース 2 事例について 2) グループ発表及び助言 助言者：一般社団法人青森県助産師会 代表理事 白濱 奈々子 氏 【第 2 部】 1) 講演「精神的問題を抱える妊産婦への支援について」 講師：健生クリニック 精神科医 小鹿 瞳子 氏 2) 情報提供 (1) 自殺の概要について (2) 妊産婦情報共有システムについて 3) 意見交換

(2) 女性健康支援事業

ア 女性健康相談事業

女性がその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談できる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。

- ・相談件数：定期相談 0 件、随時相談 5 件
- ・相談内容：妊娠、避妊に関する相談、婦人疾患、更年期障害に関する相談。
- ・不妊専門相談センター予約件数：5 件

イ 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療費が高額でありその経済的負担が重いことから、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図る。

・治療費助成承認件数：230件

(3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等に対して、適切な療育を確保するために、その疾病の状態及び療育の状況を随時把握すると共に、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

ア 小児慢性特定疾病医療受給者証交付と指導指示の状況 (人)

番号	疾病区分	交付数	医療意見書中指導指示有の件数
01	悪性新生物	28	0
02	慢性腎疾患	16	0
03	慢性呼吸器疾患	13	0
04	慢性心疾患	64	0
05	内分泌疾患	53	0
06	膠原病	11	0
07	糖尿病	20	0
08	先天性代謝異常	7	0
09	血液疾患	11	0
10	免疫疾患	1	0
11	神経・筋疾患	17	0
12	慢性消化器疾患	21	0
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	6	0
14	皮膚疾患	2	0
15	骨系統疾患	5	0
16	脈管系疾患	1	0
	計	276	0

イ 療育指導

(ア) 所内相談 ①新規交付時面接相談：38件 ②随時相談：2件 ③電話相談：0件

(イ) 訪問指導 0件

(4) 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

治療が極めて困難で長期にわたる小児の特定疾患についての治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図るとともに、患者家族の医療費の負担軽減を図るため、当該小児に対し小児慢性特定疾病医療受給者証を交付している。

(人)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
弘前市	13	9	10	47	34	6	10	6	8	0	10	11	2	2	4	0	172
黒石市	4	2	2	4	9	0	5	1	2	0	3	4	2	0	0	0	38
平川市	6	1	0	7	3	3	3	0	0	1	3	2	2	0	1	0	32
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
藤崎町	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
大鰐町	3	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8
田舎館村	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5
板柳町	1	2	1	3	4	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14
合計	28	16	13	64	53	11	20	7	11	1	17	21	6	2	5	1	276

(5) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度の公費負担を受けている児童に対し、本人の健康状態の記録・かかりつけ医療機関の連絡先等を記入できる手帳を交付し、患児の福祉の増進に寄与している。

(人)

疾患群 年度	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
30年度	6	4	2	9	6	3	2	0	0	0	1	2	1	1	1	1	39

(6) 先天性代謝異常等検査

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常、先天性甲状腺機能低下及び先天性副腎過形成症は、放置すると知的障害などの障害をきたすため、新生児期に血液によるマス・スクリーニング検査を行い、異常を早期に発見することにより、後の治療とあいまって障害を予防することを目的に実施している。

医療機関への受診の有無を確認し、速やかに受診していることを確認した。保健所から保護者への受診勧奨が必要なケースは無かった。

(弘前市：7件、平川市：1件、藤崎町1件/全9件)

(7) 妊婦連絡票等実施状況

安全な妊娠、出産環境を構築し、子どもの健全な育成に資するため、医療と保健の連携体制の一層の充実強化を図ることにより、妊娠初期から産褥期まで、妊産婦及びその家族に対し一貫した支援を行うことを目的として、妊産婦情報共有システムが構築されている。

市町村別	妊娠届出数 (A)	妊婦連絡票提出数 (B) (B÷A)	妊婦保健指導報告書 発行数 (C) (C÷B)	指導方法 合計	窓口 指導	訪問 指導	電話 指導	その他	要連絡・指導妊産婦 連絡票受理数 (D)	妊産婦保健指導結果連 絡票発行数 (E) (E÷D)	妊婦連絡票 の提出はないが、保健 指導した数 (F) (F÷A)
弘前市	989	977 98.8%	976 99.9%	1058	995	3	55	5	88	90 102.3%	6 0.6%
黒石市	185	185 100.0%	185 100.0%	202	202	0	0	0	12	11 91.7%	0 0.0%
平川市	142	141 99.3%	141 100.0%	153	141	0	12	0	5	4 80.0%	3 2.1%
西目屋村	5	5 100.0%	5 100.0%	6	6	0	0	0	0	0 0.0%	0 0.0%
藤崎町	91	91 100.0%	91 100.0%	102	94	0	8	0	8	8 100.0%	0 0.0%
大鰐町	28	27 96.4%	27 100.0%	30	29	0	1	0	1	1 100.0%	0 0.0%
田舎館村	35	35 100.0%	35 100.0%	41	36	0	5	0	1	2 200.0%	0 0.0%
板柳町	61	60 98.4%	60 100.0%	65	65	0	0	0	7	6 85.7%	0 0.0%
計	1536	1521 99.0%	1520 99.9%	1657	1568	3	81	5	122	122 100.0%	9 0.6%

(平成30年度妊産婦情報共有システム実施状況報告より)

(8) 未熟児等訪問指導状況

未熟児は、その未熟児性から疾病にもかかりやすく、心身の障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて養育支援を適切に進めるために関係機関との情報共有、連携体制の構築を図る。

市町村名	低出生体重児数	(再掲) 未熟児養育医療申請数	未熟児等出生連絡票受理数	在胎週数別出生時体重															未熟児等訪問指導連絡票発行数
				～34週未満					妊娠34～37週未満					妊娠37週以上					
				1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	
弘前市	92	30	55	3	3	4	1	0	0	0	5	10	7	0	0	2	13	7	55
黒石市	9	4	5	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	6
平川市	17	8	9	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	10
西目屋村	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
藤崎町	10	2	6	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	6
大鱈町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田舎館村	5	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4
板柳町	7	3	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	5
計	144	48	84	4	6	8	5	0	0	0	7	13	8	0	0	2	22	9	86

(平成30年度未熟児情報システム実施状況報告より)

(9) 平成30年度1歳6か月児健康診査実施状況

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	1,125	1,104	98.1
黒石市	191	187	97.9
平川市	188	184	97.9
西目屋村	9	9	100.0
藤崎町	109	109	100.0
大鱈町	44	43	97.7
田舎館村	62	59	95.2
板柳町	79	79	100.0
管内計	1,807	1,774	98.2

*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、黒石市、平川市、大鱈町、田舎館村である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりの むし歯本数
弘前市	1,125	1,104	55	0.05
黒石市	191	187	4	0.02
平川市	188	184	0	0.00
西目屋村	9	9	0	0.00
藤崎町	109	109	8	0.07
大鰐町	44	43	4	0.09
田舎館村	62	59	8	0.14
板柳町	79	79	11	0.14
管内計	1,807	1,774	90	0.05

*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町である。

(10) 平成30年度3歳児健康診査実施状況

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	1,110	1,093	98.5
黒石市	211	209	99.1
平川市	234	232	99.1
西目屋村	8	7	87.5
藤崎町	104	104	100.0
大鰐町	53	52	98.1
田舎館村	56	54	96.4
板柳町	91	91	100.0
管内計	1,867	1,842	98.7

*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、西目屋村、大鰐町、田舎館村である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりの むし歯本数
弘前市	1,110	1,093	843	0.77
黒石市	211	209	214	1.02
平川市	234	232	124	0.53
西目屋村	8	7	15	2.14
藤崎町	104	104	74	0.71
大鰐町	53	52	41	0.79
田舎館村	56	54	48	0.89
板柳町	91	91	121	1.33
管内計	1,867	1,842	1,480	0.80

*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、黒石市、西目屋村、田舎館村、板柳町である。

3 健康増進事業

(1) 保健事業費国庫及び県負担金関係

平成29年度保健事業費国庫及び県負担金実績報告にかかるヒアリング聴取を行った。

○実施日程：平成30年4月16日～18日

○実施場所：弘前保健所

○出席者：管内8市町村担当者、保健所

(2) 各種検診等実施状況

ア 歯周疾患検診（平成29年度地域保健・健康増進事業報告より） (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	950	809	97	44
黒石市	170	74	87	9
平川市	200	85	85	30
西目屋村	5	3	2	0
藤崎町	64	17	32	15
大鰐町	29	6	22	1
田舎館村	0	0	0	0
板柳町	5	0	4	1
管内計	1,423	994	329	100

イ 骨粗鬆症検診（平成29年度地域保健・健康増進事業報告より） (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	494	25	133	336
黒石市	108	14	34	60
平川市	366	32	71	263
西目屋村	26	4	12	10
藤崎町	0	0	0	0
大鰐町	94	13	36	45
田舎館村	54	8	10	36
板柳町	112	5	49	58
管内計	1,254	101	345	808

ウ その他の健康増進事業 (平成29年度地域保健・健康増進事業報告より)

(ア) 健康教育

(人)

市町村名	個別健康教育				集団健康教育	
	高血圧	糖尿病	高脂血症	喫煙	開催回数	延参加者数
	実施者数	実施者数	実施者数	実施者数		
弘前市	0	0	0	0	147	7,492
黒石市	0	0	0	0	141	2,358
平川市	0	0	0	0	216	2,577
西目屋村	0	0	0	0	4	51
藤崎町	0	0	0	0	45	191
大鰐町	0	0	0	0	52	422
田舎館村	0	0	0	0	41	1,156
板柳町	0	0	0	0	12	298
管内計	0	0	0	0	658	14,545

(イ) 健康相談

(人)

市町村名	重点健康相談		総合健康相談	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
弘前市	84	944	16	787
黒石市	4	59	65	1,110
平川市	6	60	49	1,115
西目屋村	0	0	24	24
藤崎町	69	719	3	328
大鰐町	22	496	40	40
田舎館村	0	0	28	683
板柳町	35	1,560	35	90
管内計	220	3,838	260	4,177

(ウ) 訪問指導

(人)

市町村名	被訪問指導実人員	被訪問指導延人員
弘前市	51	62
黒石市	19	19
平川市	142	354
西目屋村	98	126
藤崎町	180	194
大鰐町	11	22
田舎館村	379	442
板柳町	173	225
管内計	1,053	1,444

4 歯科保健事業

(1) 8020 運動推進特別事業

糖尿病対策を目的とした歯科疾患や職域別の生活習慣に関する実態調査を実施し、多職種連携の構築と効果的な教育プログラムの開発を行う。

ア 健康講座

「ちょっと待った!! 歯周病は糖尿病の合併症」

(参加者：藤崎町消防団員 48人)

イ ポスターの作成

- ・歯周病と糖尿病の関係性について、藤崎町と共同で普及啓発を目的としたポスターを作成。
- ・作成したポスターは健康講座時の消防団(22団)と藤崎町内の医療関係機関(病院、診療所、歯科診療所、薬局)計18機関に配布し、掲示を依頼した。

ウ 検討会議

- ・健康講座実施前に所内歯科医師と保健師、藤崎町保健師でアンケート調査・健康講座内容について検討を行った。
- ・ポスターの協同作成にあたり、内容やデザインについて、町職員と検討会を実施。

(2) 親と子のよい歯のコンクール

子や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯を持つ親と子を表彰し、地域の親子歯科保健の推進を図る。

○対象者：前年度の3歳児歯科健康診査を受診した、むし歯のない又は治療済である子とその親
465組

○開催月日：平成30年6月10日(日)

○参加者：親子64組

○コンクール結果：黒石市の親子が最優秀となった。

5 栄養改善指導事業

(1) 給食施設栄養管理指導事業

特定給食施設等に対し、喫食者に適切な栄養管理が実施されるよう施設を巡回して必要な指導及び助言を行う。また、給食従事者に対し研修会を開催する。

ア 巡回指導

	指定給食施設		特定給食施設		特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		総計
	有	無	有	無	有	無	
栄養士の配置の有無							
巡回指導対象施設数	3	0	70	10	98	22	203
巡回指導延施設数	2		29	0	43	7	81
指導率(%)	0		41.4	0	43.9	31.8	39.9
施設来所延指導数	0		0	0	1	1	2
電話による相談数	0		2	0	2	0	4

イ 研修会

第1回／市町村栄養改善業務支援事業併催	
開催日時	平成30年12月26日 13:30～16:10
開催場所	ヒロロ3階 ヒロロスクエア健康ホール
参加施設数	9施設（学校給食センター5、学校4）、6市町村
参加者数	27名
内容及び講師	<p>地域ぐるみの生活習慣病予防を目指し、栄養教諭・学校栄養職員と市町村健康づくり担当者の連携を深めるため研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 <ul style="list-style-type: none"> (1)「西目屋村における連携事例」 西目屋村役場 住民課 稲宮 麻耶 氏 (2)「朝食づくり教室」 大鰐町役場 保健福祉課 健康推進係 福井 沙亜耶 氏 ・グループ討議、全体討議「学校と行政が連携するための体制づくり」 進行：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 渡辺主査 まとめ：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 山口健康増進課長

第2回／市町村栄養改善業務支援事業併催	
開催日時	平成31年2月7日（木） 14:00～16:30
開催場所	弘前パークホテル
参加施設数	87施設（保育園・幼稚園・こども園）、5市町村
参加者数	93名
内容及び講師	<p>保育園・幼稚園における食育の取り組みを推進するため給食担当者を対象とした研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告「おいしい給食レシピ集」第2集について 弘前市保育研究会 給食部会長 原子 真美 氏 ・事例紹介「教育・保育施設における食育計画と実践活動」 <ul style="list-style-type: none"> ①城南保育園 管理栄養士 川村 真美 氏 ②富士見保育所 栄養士 平山 なつ子 氏 ③木の実こども園 管理栄養士 和田 紫織 氏 ・グループ討議 「教育・保育施設における食育活動と実践活動」

第3回	
開催日時	平成31年3月8日(金) 13:30~16:10
開催場所	青森県産業技術センター弘前工業研究所 1階 研修室
参加施設数	50施設(病院15、特別養護老人ホーム16、介護老人保健施設9、経費老人ホーム1、養護老人ホーム1、障害者支援施設8)
参加者数	58名
内容及び講師	<p>食提供施設が災害時においても給食が迅速に提供できるよう、平常時から災害時における体制の整備の充実を促すため研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供「施設における給食に関する災害対策について」 <ul style="list-style-type: none"> ①病院：弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 管理栄養士 横山 麻実 氏 ②高齢者入所施設：介護老人保健施設 ヴィラ弘前 栄養部 総括主幹 高橋 水穂 氏 ③障害者支援施設：障害者支援施設 旭光園 管理栄養士 舘山 郁子 氏 ・意見交換「施設における給食に関する災害対策について」 <ul style="list-style-type: none"> 進行：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 渡辺主査 まとめ：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室 山口健康増進課長

第4回	
開催日時	平成30年8月28日(火) 13:20~16:30
開催場所	青森県産業技術センター弘前工業研究所 1階 研修室
参加施設数	47施設(病院12、特別養護老人ホーム15、介護老人保健施設6、経費老人ホーム1、デイサービスセンター1、障害者支援施設10、障害児入所施設1、多機能型事業書1)
参加者数	66名
内容及び講師	<p>施設栄養士より、調理師を対象として衛生管理に関する研修をしてもらいたい旨の要望があり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：「食品衛生について」 講師：弘前保健所 桜庭生活衛生課長 ・講演：「嚥下障害と嚥下調整食について」 講師：健生病院 リハビリテーション課 副技師長 小山内 奈津美 氏

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村健康増進計画等の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する管理栄養士等による連絡調整や情報交換、研修を行う。

ア 連絡調整会議

開催日時	平成30年5月24日(木) 13:30~16:30
対象者	管内市町村行政栄養士
参加者数	9名
参加者内訳	市町村行政栄養士6市町村7名、保健所職員2名
内 容	(1) 平成29年度の事業内容・評価及び平成30年度の方向について (2) 情報交換 (3) 今年度の行政栄養士研修会の進め方及び内容について

イ 研修会

第1回	
開催日時	平成30年10月19日(金) 13:30~16:00
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	10人
参加者内訳	市町村行政栄養士8市町村8名、保健所職員2名
内 容	(1) 情報提供 「糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組み」 情報提供者：五所川原市健康推進課 白戸 里佳 氏 西目屋村住民課 稲宮 麻耶 氏 (2) グループワーク 「糖尿病性腎症重症化予防事業における栄養士の関わりについて」

第2回	
開催日時	平成31年1月31日(木) 13:30~16:00
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	9人
参加者内訳	市町村行政栄養士6市町村7名、保健所職員2名
内 容	事例検討

※ 第3回、第4回は給食施設栄養管理指導事業(研修会)と併催

ウ その他市町村事業に対する支援

市町村名	具体的な内容
弘前市	弘前市食生活改善推進員養成講座講師（1回） 生活衛生課 磯技師 参加者 12人
藤崎町	藤崎町食生活改善推進員会養成講座講師（2回） 生活衛生課 渡邊主幹 健康増進課 渡辺主査 参加者 各4人

(3) 食生活改善推進員の育成

ア 弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会

管内市町村食生活改善推進員の活動について、連絡調整や情報交換、研修を行い、地域における食生活改善活動の効果的な実施を推進する。

事業	内容	開催場所
総会	平成30年4月24日(火)	
研修会	平成30年4月24日(火) 講話・実技：「カラダに無理のない一人ひとりにあった運動と講話」 講師：青森県健康・体力づくり協会 健康運動指導士 奈良岡 匠 氏	青森県武道館
	平成30年7月13日(金) 調理実習：「おやこの食育教室」 伝達講話：「食物繊維に関する講座」	弘前市保健センター
	平成30年9月14日(金) 調理実習：「生涯骨太クッキング」 講話：「骨粗鬆症について」 講師：弘前保健所 渡辺主査	弘前市保健センター
役員会	平成30年7月13日(金)	弘前市保健センター
	平成30年9月14日(金)	弘前市保健センター
	平成30年12月3日(月)	弘前保健所
	平成31年 3月8日(金)	弘前保健所

イ 管内市町村食生活改善推進員会会員数

市町村名	会員数(人)	会員数(人)
	平成30年6月1日現在	平成29年6月1日現在
弘前市	173	165
黒石市	156	147
平川市	135	140
西目屋村	12	12
藤崎町	37	39
大鱈町	60	56
田舎館村	35	37
板柳町	32	33
合計	640	629

ウ 管内市町村食生活改善推進員養成講座実施状況

弘前市、藤崎町

(4) 青森のおいしい健康応援店認定事業

平成12年から実施してきた外食栄養成分表示店定着促進事業を廃止し、平成27年2月から県内（青森市除く）で新規事業として実施している。本事業は、「肥満予防」、「食塩摂取量の減少」、「野菜摂取量の増加」に配慮した食事メニューの提供を行う飲食店、惣菜店から申請があった場合に「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を推進する。

認定店舗数 11件

(5) 健康増進法及び食品表示法に基づく表示の指導及び相談

栄養成分表示や特別用途表示、誇大表示の禁止等、健康増進法及び食品表示法に基づき、事業者による食品または広告等の表示に対し相談・指導を行う。

指導及び相談件数 延べ93件

6 精神保健福祉関係

(1) 通報状況

(人)

区 分	申請 通報	調査により診察 の必要がないと 認めた者		診 察 を 受 け た 者		
		入院	その他	精 神 障 害 者		精神障害者で なかった者
				法第 29 条該当 症状の者	法第 29 条該当 症状でなかった 者	
一 般 の 申 請	0	0	0	0	0	0
警 察 官 の 通 報	11	0	1	5	5	0
検 察 官 の 通 報	2	0	1	0	1	0
保 護 観 察 所 長 の 通 報	0	0	0	0	0	0
矯 正 施 設 の 長 の 通 報	5	0	3	0	2	0
病 院 の 管 理 者 の 届 出	0	0	0	0	0	0
医 療 観 察 法 の 対 象 者	0	0	0	0	0	0
計	18	0	5	5	8	0

※管外 1 名を含む

(2) 医療状況

ア 入院・通院状況

(人)

市町村別	入 院		通 院	計
	措 置	医療保護		
弘 前 市	4	1,085	2,977	4,066
黒 石 市	0	324	527	851
平 川 市	0	207	485	692
西 目 屋 村	0	8	18	26
藤 崎 町	1	95	196	292
大 鱈 町	0	90	131	221
田 舎 館 村	0	41	96	137
板 柳 町	0	85	220	305
合 計	5	1,935	4,650	6,590

イ 通院医療状況

疾病別患者数では、統合失調症（F2）が全体の35.0%を占め圧倒的に多い。（人）

市町村別	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F3 気分障害	F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格及び行動の障害	F7 精神障害	F8 心理発達障害	F9 小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	G40 てんかん	その他 分類不明	合 計
弘 前 市	111	87	1,041	865	161	5	28	52	180	77	259	111	2,977
黒 石 市	44	17	176	131	38	1	3	13	23	18	45	18	527
平 川 市	25	12	167	123	24	2	1	16	33	10	47	25	485
西目屋村	3	1	7	3	1	0	0	1	0	0	1	1	18
藤 崎 町	18	4	71	48	14	0	2	4	10	5	9	11	196
大 鱈 町	10	3	51	35	8	0	0	6	4	0	8	6	131
田舎館村	4	2	31	23	6	1	0	2	9	3	7	8	96
板 柳 町	16	6	84	47	10	0	3	2	11	3	18	20	220
合 計	231	132	1,628	1,275	262	9	37	96	270	116	394	200	4,650

（3）精神障害者保健福祉手帳所持者数

所持者数の割合で見ると、1級29.4%、2級57.9%、3級12.7%となっている。（人）

市町村別	1級	2級	3級	計
弘 前 市	572	1,170	258	2,000
黒 石 市	83	195	41	319
平 川 市	101	166	39	306
西目屋村	4	4	0	8
藤 崎 町	44	69	13	126
大 鱈 町	25	49	10	84
田舎館村	27	32	7	66
板 柳 町	34	65	17	116
合 計	890	1,750	385	3,025

（4）精神保健福祉相談（定期・随時・電話）

相談内容は、受診及び入院、引きこもりに関する相談が多かった。

ア 相談開設日及び従事者

	定 期 相 談 【予約制】	定期外相談・電話相談
開 設 日	偶数月 第2木曜日、第3火曜日 奇数月 第2木曜日 ※受付 13:00～14:00	随 時
従 事 者	嘱託医 ・弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 ・藤代健生病院 名誉院長 坂本 隆 ・聖康会病院 院長 齋藤 文男 保健師	保 健 師

イ 相談内容

(人)

	相談件数	主な相談内容															平成29年度
		受診・入院について	通院・服薬指導について	生活指導について	経済的問題について	性格・行動上について	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	その他	
合計	688	140	21	6	7	44	14	33	0	29	8	5	2	20	13	346	575
定期	38 (32)	9	1	0	0	7	2	3	0	0	0	1	0	8	1	6	27 (19)
随時	66 (47)	24	0	1	4	8	1	2	0	1	2	2	2	3	4	12	51 (47)
電話	584	107	20	5	3	29	11	28	0	28	6	2	0	9	8	328	497

* () 内の数値は実数

ウ 定期・随時相談の相談者内訳 (延数)

相談件数	本人	家族等				
		配偶者	父・母	同胞	子	その他
104	30	6	71	9	6	10

エ 定期・随時相談の相談経路 (件数)

相談件数	自発来所	関係機関の紹介				その他
		市町村	医療機関	警察署	その他	
104	73	5	9	6	3	8

(5) 家庭訪問

家族の依頼や関係機関等の連絡による受診勧奨の支援が多かった。

平成30年度 訪問件数 (件)	対象者別訪問状況							支援内容 ※延件数						平成29年度 訪問件数
	総計	一般	老人精神	アルコール	ひきこもり	自殺関連	その他	受診・入院に 向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	家族関係調整	社会復帰	その他	
延数	117 (56)	53	1	17	5	12	29	32	12	13	2	2	56	89 (47)

* () 内の数値は実数

(6) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

精神障害者本人及び家族が、住み慣れた地域で自分らしい生活を実現できる地域を目指し、保健・医療・福祉等の支援関係者が連携し、長期入院者の地域移行を進めるための支援体制を構築する。

ア 精神障害者の地域移行に関する関係者打合せ会（5回）

開催年月日	平成30年5月22日(火)、7月4日(水)、9月25日(火)、12月18日(金)、平成31年2月26日(火)
場 所	弘前愛成会病院、青森県産業技術センター弘前工業研究所、等
出席者	精神科病院5カ所、一般相談支援事業所9カ所、管内市町村障害福祉所管課等、弘前保健所
内 容	管内の精神障がい者の地域移行支援の推進に向けた取り組み、協議、等

イ 精神障害者の地域移行に関する研修会（地域生活支援広域調整会議）

開催年月日	出席者	内 容
平成31年 3月11日 (月)	管内精神科病院、相談支援事業所、市町村(障害、保健、介護、生活福祉)、包括支援センター、等 計52人	1 情報提供「長期入院患者の現状と当圏域の取り組みについて」弘前保健所健康増進課 2 講演「精神障害をもつ方の地域包括ケアシステムの構築に向けて」 ～長期入院者も安心して暮らせる津軽地域を目指して～ 講師 山梨県立あゆみの家 施設長 有野 哲章 氏 3 事例検討「地域移行支援をみんなで進めるために」

ウ 精神障がい者ピアサポーターの養成等

開催年月日	出席者	内 容
平成30年 11月4日 (土)、5日 (日)	当事者12名 支援者25名 計37名	【精神障がい者ピアサポーター養成講座】 ①講義「ピアサポートとは」他 ②グループワーク 講師 聖学院大学 教授 相川 章子 氏 相談支援事業所てれんこ 相談支援員 川村 有紀 氏
平成31年 2月8日 (金)	当事者 9名 支援者11名 計20名	【フォローアップミーティング】 ・当圏域の取り組みに説明 ・今後の活動等について

(7) 自殺対策事業

ア 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

各地域の特性に応じた包括的な自殺対策の推進に向け、関係機関のネットワークを強化することで、社会全体の自殺リスクを低下させることを目的に実施している。

開催年月日	参加者	内 容
平成31年 1月21日 (月)	管内産科科医療機関、助産師会、児童相談所、市町村関係職員 計33人	1 講演 テーマ「精神的問題を抱える妊産婦への支援について」 講師 健生クリニック 精神科 医長 小鹿 瞳子 氏 2 情報提供 ①弘前保健所管内の自殺の状況について ②妊産婦・未熟児情報共有システムの運用状況について 3 意見交換「精神的問題を抱える妊産婦への支援」

イ 自殺及び自殺未遂者調査

消防署の協力を得て、自殺及び自殺企図者の実態を把握し、自殺対策に役立てることを目的に実施している。

ウ 個別支援

- ・対応ケース：1件（平成27年度～：1件）
- ・事例検討会：実施なし

エ 管内市町村自殺対策計画策定に対する支援等

管内市町村名	参加回数	会議名称
弘前市	1回	弘前市自殺対策連携会議
	1回	弘前市健康づくり推進審議会
黒石市	2回	黒石市健康づくり推進協議会
平川市	2回	平川市健康づくり推進協議会
西目屋村	0回	
藤崎町	3回	藤崎町自殺予防対策実務者会議
	1回	藤崎町健康づくり推進協議会
	2回	藤崎町虐待等防止協議会
大鰐町	1回	大鰐町自殺対策計画策定のための研修会
	2回	大鰐町健康づくり推進協議会
田舎館村	1回	田舎館村健康づくり推進協議会
板柳町	2回	板柳町のちを支える自殺対策ネットワーク会議

(8) 連携組織に対する支援

精神障害者家族会等

家族会等組織が自立した活動を継続できるよう、地域家族会に対し、自主的な会運営の推進のために、随時相談等に対応した。

(9) ケース処遇に関する会議

ア 精神障害者地域ケア会議

精神障害者及びその家族に対し、その状態に応じた適切な支援をするために医療機関・福祉事務所等その他関係機関と処遇について検討や協議を行った。

- ・開催回数：20回（16ケース）

イ 心神喪失者等医療観察法に係るケア会議

心神喪失者等医療観察法に基づく処遇、退院後の処遇等について、医療機関、青森保護観察所、市町村等の関係機関と協議、検討を行う。

- ・開催回数：3回（1ケース）

(10) 精神科病院に対する実地指導について

障害福祉課と同行し、精神科病院実地指導は5医療機関に対して、利用者の処遇等について指導を行った。

(11) 津軽地域精神科救急医療システム稼働状況

救急当番病院は当地域には4病院あり、休日・夜間の精神科救急に対応している。受診にあたってはかかりつけ医療機関を優先として実施している。精神疾患のため緊急に医療を必要としている精神障害者が受療しているが、診察の結果16.2%が入院医療を必要としている。

病 院 名	平成30年度	内 訳			平成29年度
		電話のみ	来 院	入 院	
弘前愛成会病院	281	215	29	37	212
藤代健生病院	145	3	112	30	170
聖康会病院	0	0	0	0	1
黒石あけぼの病院	19	13	1	5	14
合 計	445	231	142	72	397

(12) 津軽地域精神科救急医療システム連絡調整委員会

津軽地域の救急医療システムの円滑な運営を図るために、医師会、医療機関、警察署、消防本部をメンバーとする連絡調整委員会を開催している。

開催年月日	出席者	内 容
平成31年 2月21日 (木)	委員 8人 医療機関 5人 警察署 2人 消防本部 1人 (上記のうち代理出席2名)	議題 (1) 津軽地域精神科救急医療システム事業実績について (2) 精神科救急医療システムの運営に係わる現状と課題について

7 難病関係

(1) 指定難病の医療費助成制度

難病のうち、治療方法が確立していないなど治療が極めて困難で、症状も慢性に経過し、後遺症を残すことが少なくなく、そのうえ社会復帰が難しく医療費も高額なため、経済的な問題や介護等家庭的にも精神的にも負担の大きい疾病であり症例が少ないことから、全国的規模での研究が必要な疾病を特定疾患と定義し、そのうち56疾病を公費負担の対象としていた。

平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が施行され、医療費助成の対象となる指定難病はこれまでの56疾病から110疾病へとなり、平成27年7月からは306疾病、平成29年4月からは330疾病、平成30年4月からは331疾病となっている。

疾患名	弘前市	黒石市	西目屋村	大鰐町	田舎館村	藤崎町	板柳町	平川市	合計
IgA腎症	11			1				1	13
IgG4関連疾患	4		1						5
アイカルディ症候群	1								1
エーラス・タンロス症候群		1							1
オスラー病	1	1							2
クッシング病	2	1		1					4
クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群		1							1
クローン病	62	11		5	6	6	3	10	103
サルコイドーシス	30	9		3		3		5	50
シェーグレン症候群	11	2		1			2	1	17
パーキンソン病	208	40	2	17	11	18	14	39	349
パージャー病	3	1							4
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1								1
ファロー四徴症					1				1
ブラダー・ウィリ症候群	1								1
プリオン病	1	2							3
ペーチェット病	41	10	1	4	6	2	2	8	74
マルファン症候群				1					1
もやもや病	8	1			1	2		2	14
ライゾーム病	2					1			3
リンパ脈管筋腫症								1	1
悪性関節リウマチ	10	1		2			2	1	16
一次性ネフローゼ症候群	18	3		1	1	1	1	3	28
一次性腫性増殖性糸球体腎炎	2	1							3
遠位型ミオパチー	1							1	2
黄色靱帯骨化症	5					1		2	8
下垂体性ADH分泌異常症	5				1				6
下垂体性PRL分泌亢進症	3	1							4
下垂体性TSH分泌亢進症	1								1
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	10	1		1		1	4		17
下垂体前葉機能低下症	33	6		4	1	1		3	48
家族性地中海熱	2						1		3
完全大血管転位症	1								1
球脊髄性筋萎縮症	7								7
強直性脊椎炎	5	2						1	8
筋ジストフィー	10	7		2	2				21
筋萎縮性側索硬化症	17	3		2	2		1	3	28
結節性多発動脈炎	1	2		1					4
顕微鏡的多発血管炎	9			2	1		1	2	15
原発性抗リン脂質抗体症候群		1		1					2
原発性硬化性胆管炎	2								2
原発性胆汁性胆管炎(原発性胆汁性肝硬変)	20	3	1	2			1	2	29
原発性免疫不全症候群	1								1
後縦帯骨化症	102	13	1	4	2	9	13	13	157
後天性赤芽球癆	1	1							2
好酸球性消化管疾患	1								1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	1		1					7
好酸球性副鼻腔炎	10	1			1	1	2	5	20
広範脊柱管狭窄症	4	2		1			1		8
抗糸球体基底膜腎炎	1								1
高安動脈炎	7	3				2		1	13
混合性結合組織病	11	5				2	2	5	25
再生不良性貧血	13	6	1	1		1	1	2	25
再発性多発軟骨炎		1							1
紫斑病性腎炎	3								3
自己免疫性肝炎	7			1		1			9
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1								1
自己免疫性溶血性貧血	1	1		1					3
若年性特発性関節炎	3								3
若年発症型両側性感音難聴	1								1
修正大血管転位症							1		1
重症筋無力症	27	3		2		2	4	5	43
徐派睡眠期持続性棘徐派を示すてんかん性脳症	1								1
色素性乾皮症							1		1
神経繊維腫症	3	1	1					1	6
進行性核上性麻痺	12	3		2	1	1		5	24
進行性骨化性線維異形成症	1								1
成人スチル病	7	2			1	1	1	1	13
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	49	15		1	3	3	5	5	81
先天性副腎皮質酵素欠損症	1								1
前頭側頭葉変性症		1				1			2
全身性アミロイドーシス	1	1				1			3
全身性エリテマトーデス	101	22		3	4	5	6	16	157
全身性強皮症	46	9	1	2	2	2	5	11	78
多系統萎縮症	16	3		1		2	1	1	24
多発血管炎性肉芽腫症	1			1			1		3
多発性硬化症/視神経脊髄炎	37	6		2	5	6		7	63
多発性嚢胞腎	12	2		1	1				16
大脳皮質基底核変性症	8						1		9
単心室症	1	1							2
潰瘍性大腸炎	147	31	1	4	7	11	15	26	242
天疱瘡	3	2				1	1	2	9
特発性拡張型心筋症	14	2		1		3	2	3	25
特発性間質性肺炎	16	2		1		1		4	24
特発性血小板減少性紫斑病	27	3				1	2	5	38
特発性多中心性キャッスルマン病						1			1
特発性大脳骨頭壊死症	32	8			4	5	3	4	56
脳脊髄モジデリン沈着症		1						1	2
膿瘍性乾癬(汎発型)	3				2			1	6
肺動脈性肺高血圧症		1				2			3
肺動脈白症(自己免疫性又は先天性)	1						1		2
皮膚筋炎/多発性筋炎	31	4		1	2	3	4	8	53
肥大型心筋症	4							1	5
非特異性多発性小腸潰瘍腫	1								1
表皮水疱症	1								1
副甲状腺機能低下症	1								1
副腎白質ジストロフィー	1								1
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	13	4			1				18
慢性血栓性肺高血圧症	4	1		1				2	8
網膜色素変性症	20	3	1	1	1		2	3	31
両大血管右室起始症								1	1
類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1	2	1		1	1			6
合計	1365	278	12	84	71	105	107	224	2246

(2) 難病患者等相談事業

ア 医療相談

難病患者やその家族が抱える医療及び日常生活上の相談に対し、専門医等による指導・助言等を行い、在宅療養の推進を図りながら、関係者間での連携を強化し、安心・安全に療養できるためのネットワークの構築を図る。

○医療相談2回実施

回	第1回	第2回
日時	平成30年7月24日(水) 13:30~15:35	平成30年11月2日(金) 14:00~16:00
場所	弘前市民会館	弘前市民会館
対象者	管内筋萎縮性側索硬化症(ALS) 患者家族	重症筋無力症、多発性硬化症・視神経脊髄炎 患者家族
参加者	13人 (内訳) 患者2人 講師1人(作業療法士) 関係者: ALS協会1人、市町村1人、 保健所5人、難病訪問相談員3人	22人 (内訳) 患者9人、家族5人 講師2人(難病患者就職サポーター、市町村) 関係者: 保健所4人、難病訪問相談員2人
従事者	保健所長、保健師4人、訪問相談員3人	保健所長、保健師4人、訪問相談員2人
内容	①講話と実技 「ALS患者のリハビリテーションのかかわり～作業療法士の視点から～」 講師 青森病院リハビリテーション科 作業療法士 北山 信彰氏 ②交流会	①講話 「難病のある方々への就労支援の現状について」 講師 青森公共職業安定所難病患者就職サポーター 高橋 牧子氏 「障害福祉サービスについて」 講師 弘前市福祉政策課 玉田 桃子氏 ②交流会

○ケア会議4回実施

患者本人、家族、支援関係者によるケア会議を随時実施している。

イ 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、相談員等による日常生活上の相談、指導、助言及び精神的支援を行い、在宅療養の推進を図る。

(ア) 訪問相談

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
保健所保健師 (件)	60	67	71	71
訪問相談員 (件)	118	104	83	51
計	178	171	154	122

(イ) 打ち合わせ会

開催年月日	平成 30 年 4 月 23 日 (月)	平成 30 年 1 月 6 日 (火)	平成 31 年 3 月 5 日 (火)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談員の証」交付 ・訪問相談計画 ・地区分担について 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談実施状況 ・研修伝達・情報交換 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談実施状況 ・情報交換 ・31 年度計画について

(3) 新規特定医療受給者証交付時相談及び継続申請時相談

新規に難病と診断された患者やその家族が抱える医療及び日常生活に関する悩みに対し、特定医療受給者証の交付時を利用した相談・指導・助言及び精神的支援を行い、難病患者の在宅療養の推進を図る。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受給者証交付時相談 (件)	80	88	100	86
継続申請時相談 (件)	15	5	2	6
電話相談 (件)	20	13	4	6
計	115	106	106	98

※平成 22 年度から継続申請時の相談を行ってきたが、H29 年度は希望により相談に応じる体制とした。

(4) 難病在宅ケア推進ネットワーク会議

難病患者の在宅療養の特殊性を踏まえた包括的な支援体制の構築により、難病患者とその家族が安心して療養生活を継続できるように、支援関係者間の連携の促進を図る。

開催	場 所	出席者	内 容
平成 31 年 2 月 19 日 (火) 14:00~16:00	青森県産業技術センター 弘前地域研究所	南黒医師会、健生病院、国立病院機構青森病院、弘前市立病院、弘前大学医学部附属病院、弘前医師会弘前地区在宅医療支援センター「そよかぜ」、訪問看護ステーション連絡協議会中南南黒支部、県介護支援専門員協会津軽支部会、青森県難病相談支援センター、難病連、県立中央病院医療連携部、市町村(弘前市)、弘前地区消防事務組合消防本部、ひいらぎ訪問看護ステーション、弘前保健所 計 25 人	1 事業報告 「弘前保健所の難病対策」 2 話題提供・意見交換 「難病患者の意思決定支援について」 話題提供者 青森県立中央病院脳神経センター長 富山 誠彦 氏 青森県立中央病院医療連携部難病医療コーディネーター 澤田 智恵子 氏

(5) 患者会支援

同じ疾患をもつ患者やその家族が、治療や療養生活上の悩みを共有し、難病を抱えながら生活していくための仲間づくりや交流するための活動を支援する。

- ア 新規特定疾病医療受給者証交付時相談や随時相談、及び難病訪問相談員や所内保健師訪問時の情報提供
- イ 患者会活動について対象者への周知の協力。(パーキンソン病等)
- ウ 後縦靭帯骨化症の患者会「まるめろの会」医療講演会出席(1回)

(6) 青森県重症難病患者在宅療養支援事業

- ・対象：人工呼吸器を装着し、在宅療養している方
- ・内容：①一時入院、②看護人派遣
- ・登録者：1人(実際の利用には至らず)

8 石綿に係る健康相談等及び被害救済制度に関する申請状況

石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。

(1) 石綿健康被害救済制度に係る申請受付状況

平成30年度においては、認定申請3件(左記のほか、書類追加受付が1件)

9 保健師業務連絡会議

管内市町村・事業所等に勤務する保健師を対象として、保健活動に関する情報交換及び学習会を開催し、業務の円滑化を図る。

開催年月日	参加者	内 容
平成31年 2月27日 (水)	市町村 8人 保健所 11人 計 19人	1 情報提供「市町村に伝えたい最新の公衆衛生情報」 中南地域県民局地域健康福祉部長 山中 朋子 2 情報交換「市町村における保健師活動の重点活動の実践及び評価 について」 3 講義及び演習「保健師としてのアセスメント力を高める～誰もが よい記録を書くために～」 弘前学院大学看護学部公衆衛生看護学教授 柳澤 尚代 氏

10 保健師の育成支援

(1) 保健所保健師等育成支援事業（トレーナー保健師事業）

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、保健所の初任期の保健師（採用1年目）が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者：所内初任保健師1人

イ トレーナー保健師1人（在宅保健師 今 和子）

ウ 事業日数：20.0日

エ 内 容

種別	日数	件数		内訳
		実数	延件数	
家庭訪問	15.5	14	20	精神4件(延8件)、難病7件(延9件)、乳児2件(延2件)、その他(老人虐待)1件(延1件)
コーディネート(ケア会議)	1	1	1	精神1件(延1件)
打合せ等評価会	3.5	/	/	事前打合せ会(6/5、11名)、藤崎町における保健活動打合せ(6/29、13名)、中間評価会(10/31、9名)、最終評価会(2/15、7名)
計	20.0	15	21	

(2) 青森県新任等保健師育成支援事業

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、市町村の新任保健師が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者：黒石市保健師 2名

イ トレーナー保健師 1名

ウ 事業日数 18日（平成30年6月5日～平成31年2月15日）

エ 内 容

項 目	日数	内 容
家庭訪問	14	・延23件（特定健診重症化予防対象者を中心に）
保健活動の情報共有 事業打合せ・評価会	4	・黒石市の保健活動の共有1回 ・打ち合わせ1回、中間評価会1回、最終評価会1回

オ 事業打合せ、評価会

・月 日：①事業打合せ 平成30年 6月 5日（火）

②中間評価会 平成30年10月31日（火）

③最終評価会 平成31年 2月15日（金）

・場 所：黒石市役所等

・出席者：トレーナー保健師1名、黒石市6名、がん・生活習慣病対策課1～2名、
県国民健康保険連合会1～2名、保健所2名

・内 容：事業内容の確認、進捗状況評価、結果評価と次年度の課題等について意見交換

(3) 初任期保健師及び新任期保健師研修

初任期保健師及び新任期保健師が、保健師の専門能力を発揮し、地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけるとともに、現任教育の体制づくりを推進する。

【目標】

＜初任期＞（1年未満）

担当業務を中心に法令や施策体系を理解し、公衆衛生の視点を持って個人の対人支援や保健事業の実施ができる。

＜新任期＞（1年以上5年未満）

基本的な実践能力を確実なものとして保健師活動を展開することができ、最適なサービス提供のために、関係職種、関係者を選択し、連携・調整ができる。

ア 対象者

(人)

	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	保健所	計
初任期	3	2							1	6
新任期	5	2	1		1		1	3	3	16
計	8	4	1	0	1	0	1	3	4	22

イ 内容 3回開催

(人)

開催年月日 会場	プログラム	初 任 期	新 任 期	指 導 保 健 師	計
平成 30 年 8 月 24 日 (金) 弘前市保健セ ンター	(1) 講義 ①「市町村・保健所保健師として、行政の立場での役割」 ② 地域診断について 講師 健康増進課長 山口 久美子 (2) グループワーク「地域診断の実際」の実際 (演習) (3) 講義 ・児童相談所の機能と役割等 講師 弘前児童相談所 主査 田中 哲司 ※上記 (1) と (2) は市町村新採用管理栄養士研修と併催	5		1	6
平成 31 年 1 月 21 日 (月) 青森県産業技 術センター弘 前工業研究所	《第 1 部》 (1) 事例検討とグループワーク 助言者 青森県助産師会 代表理事 白濱 奈々子 氏 《第 2 部》 (1) 講義「精神疾患を抱える妊産婦への支援」 講師 健生クリニック 精神科医 小鹿 瞳子 氏 (2) 情報提供 ①弘前保健所管内の自殺の現状について 提供者 弘前保健所 技師 岩谷 香奈 ②妊産婦・未熟児情報共有システムの運用について 提供者 弘前保健所 技師 音喜多 祐未 (3) 意見交換 精神疾患を抱える妊産婦への支援 ※母子保健ネットワーク会議、多分野合同研修会との併催		9	0	9
平成 31 年 2 月 12 日 (火) 青森県武道館	(1) 事業・活動評価の発表、意見交換 新任保健師 10 名による発表 (2) グループワーク ①今年度の振り返りと課題及び要望 ②グループワークの発表 (3) 全体の助言・まとめ がん・生活習慣病対策課 課長代理 奥村 智子 健康増進課 健康増進課長 山口 久美子	6	10	1	17

1 1 保健協力員の育成支援事業

市町村等が所管し育成している保健協力員等組織を対象に、活動に関する情報交換と地域の健康問題についての学習、意見交換等を行い、管内の保健協力員等の活動の活性化及び健康水準の向上に寄与することを目的に支援した。

(1) 実施状況

ア 研修会

(ア) 日 時：平成30年8月21日（火）

(イ) 場 所：青森県武道館

(ウ) 参加者：計86人（保健協力員67人、市町村担当者10人、事務局等9人）

(エ) 内 容

メインテーマ 「糖尿病について、正しく知ろう」

1 講演 「糖尿病の予防と悪化防止のためにできること～食生活を中心に～」

講師 内科おひさまクリニック 副院長 小倉 絵里子 氏

2 レクリエーション「身近なところでリフレッシュ」

講師 レクリエーションインストラクター（藤崎町健康推進員会長）横山 恵子 氏

3 話題提供 「中南地域の糖尿病予防における健康課題」

提供者 弘前保健所 技師（歯科医師） 乾 明成

4 交流会（グループワーク） 「糖尿病予防で私たち保健協力員ができること」

進行 弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子

グループ討議・発表、まとめ・助言

イ 役員会

開催年月日	内 容	出 席 者
平成30年 6月6日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業及び決算報告について ・平成30年度事業計画及び予算（案）について ・研修計画、活動報告、その他 	保健協力員 8人 市町村担当者 8人 事務局 3人 計19人
平成31年 1月30日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業及び決算報告について ・平成31年度事業計画について ・次年度研修計画、その他 	保健協力員 8人 市町村担当者 8人 事務局 3人 計19人

(2) 管内市町村保健協力員等の設置状況

(平成30年4月現在)

市町村名	名称	人数			任期／組織名	担当部局
		(人)	男	女		
弘前市	健康づくりパートナー	322	39	283	2年／健康づくりパートナー連絡協議会	健康づくり推進課
黒石市	保健協力員	226	8	218	2年／保健協力員会	健康推進課
平川市	保健協力員	195	6	189	2年／保健協力員会	子育て健康課
西目屋村	保健協力員	21	0	21	2年／(組織なし)	住民課
藤崎町	健康推進員	126	1	125	2年／健康推進員会	福祉課
大鰐町	保健協力員	60	0	60	2年／保健協力員会	保健福祉課
田舎館村	保健協力員	61	0	61	2年／保健協力員会	厚生課
板柳町	保健衛生協力委員	90	41	49	2年／(組織なし)	健康推進課
計		1,101	95	1,006		

1.2 医療技術者等の研修・実習

養成機関等の依頼により、看護学生等が、保健所の機能と役割を理解し、地域保健活動及び公衆衛生看護活動、または、公衆栄養活動の実際を学ぶことを目的として実施している。

大学名	研修期間	日数 (日)	人数 (人)
弘前学院大学看護学部 看護学科	平成30年5月29日(火)～6月1日(金)	4	7
弘前大学医学部 保健学看護学専攻	平成30年6月25日(月)～6月28日(木)	4	6
弘前医療福祉大学保健学部 看護学科	平成30年10月1日(月)～10月4日(木)	4	7
青森県立保健大学健康学部 栄養士学科	平成30年6月18日(月)～6月22日(金)	5	3
東北女子大学	平成30年7月23日(月)～7月27日(金)	5	4
計 5校5学部		延22	延27

1 3 医療介護連携調整実証事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組の支援として、当管内における入退院ルールを平成 27 年度より策定し運用している。モニタリング調査で運用状況を把握し、地域課題を整理し、ルールの修正等・周知を行った。

(1) 実施状況

ア 第 1 回市町村担当者会議

- (ア) 日 時：平成 30 年 12 月 21 日（金） 14：00～15：30
- (イ) 場 所：弘前パークホテル
- (ウ) 出席者：市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、保健所等 計 25 人
- (エ) 内 容：入退院調整ルール活用後の評価と修正等について検討する
 - 1 入退院ルールモニタリング結果について
 - 2 入退院調整ルールの修正について
 - 3 病院・ケアマネ協議について
 - 4 懇談会について
 - 5 その他（地域医療資源及び在宅医療に関するアンケートについて）

イ 病院・ケアマネ協議

- (ア) 日 時：平成 31 年 1 月 15 日（火） 14：00～15：30
- (イ) 場 所：弘前パークホテル
- (ウ) 出席者：医療機関、弘前市医師会、弘前薬剤師会、弘前歯科医師会、南黒歯科医師会、市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、青森県介護支援専門員協会津軽支部会、訪問看護ステーション連絡協議会中弘南黒支部、保健所等 計 84 人
- (エ) 内 容：スムーズな入退院調整に向けたルールの課題や修正について協議する
 - 1 入退院ルールモニタリング結果について
 - 2 入退院調整ルールの確認事項について
 - 3 入退院調整ルール修正について
 - 4 事例検討（グループワーク）「在宅療養者の災害時（緊急時）の備え」

ウ 第 2 回市町村担当者会議

（二次医療圏単位で在宅医療・介護連携体制の構築を支援するための懇談会（津軽圏域）併催）

- (ア) 日 時：平成 31 年 3 月 12 日（火） 14：00～15：30
- (イ) 場 所：弘前パークホテル
- (ウ) 出席者：弘前市医師会、南黒医師会、市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、青森県医師会、保健所等 計 30 人
- (エ) 内 容：
 - 1 入退院調整ルールの修正案について
 - 2 地域医療資源及び在宅医療に関するアンケートについて
 - 3 在宅医療・介護連携推進事業の取組みについて
 - 4 意見交換
 - ①（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
 - ②医療・介護連携者の研修
 - ③その他